

令和3年度千葉県体力・運動能力調査結果の考察

1 実施期間

- 本調査は、全児童・生徒を対象に、小学校は令和3年5～11月に実施。
中学校は4～7月に実施。
- いずれも新体カテストの実施要項に従い、学校ごとに実施。

2 結果概要

(1) 全体的な傾向

- 全体では県平均を上回った項目の割合が70.1%であった。(前年比10.5%減)
全小中の男女別18学年×8項目=144項目中、101項目(前年比15項目減)
- 上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横跳び(敏捷性)、ボール投げ(投力)において県平均を上回る割合が高い傾向にある。

(2) 校種別の傾向()内の値は、一昨年度比) ※令和2年度中止のため

【小学校】

- 1、6年生男子と1、5年生女子で8項目中8項目が、3、5年生男子と3年生女子で8項目中7項目が、それぞれ県平均を上回った。
(学年別数値については別紙参照)
- 2年生男子で8項目中7項目が県平均を下回っている。

【中学校】

- 3年生男子が8項目中7項目で県平均を上回った。
しかし、男子は2年生で8項目中6項目、女子は3年生で8項目中6項目が、それぞれ県平均を下回っている。

【全体を通して】

- 小・中学校男女別で県平均を上回った項目の割合は、小学校男子が75%(-12.5%)小学校女子が81.3%(-12.5%)と高い割合であるのに対し、中学校男子が58.3%(+12.5%)中学校女子が50%(-25.0%)となっており、中学校が小学校と比べて低くなっている。
- 小学校では、ボール投げ(投力)において全学年で県平均を上回った。
- 中学校では、全学年で県平均を上回った項目はなかったが、上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横跳び(敏捷性)において、県平均を上回る割合が高い傾向にある。